



福田せいじ ネット通信

大磯学区・区政協力委員会報告

福田せいじネット通信2011年10月号 発行責任者 福田せいじ 発行日2011年10月10日

9月定例会にて議会質問しました!



災害時における備蓄物資の充実にて質問。

避難所では、透析患者も健康な人と同じ食事をするため、塩分・カリウムの過剰摂取となり、体重増加・ストレス・運動不足などの悪影響が考えられます。東日本大震災でも避難所生活の中で透析を受けることが出来なかったうえに、健康な人と同様の食事をし、体調を崩す患者が多く、中には亡くなった方もいます。そこで、人工透析患者など腎臓病患者が避難所で安心して摂取できる食品の備蓄について検討すべきと訴えました。

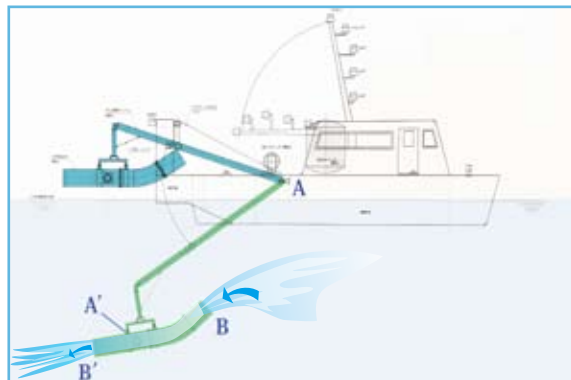
名古屋市からの答弁。

本市では、発生直後に緊急に必要な物資として、乾パンを始めとする40万食分の食料や毛布、紙おむつなどの生活用品を備蓄しております。

そうした備蓄物資の中に、要援護者に配慮した備蓄食料として、アレルギー対応のアルファ化米及び粉ミルクを備蓄しているところでございます。災害時の対応として、基本的には、災害に備えて、ご自宅において7日分程度の食糧を備蓄いただくとともに、いざというときには、持ち出す分といたしまして3日分をご準備いただくことを周知させていただいております。腎臓病患者の方につきましても、同様のお願いをしているところです。しかし、緊急時には日頃の準備だけでは限界もあるというところでございます。今後は、震災対策基本方針に基づく検討の中で、災害備蓄物資の品目について議論することとしておりますので、その中で、腎臓病患者の方への対応についても検討していきたいと考えております。との答弁を頂きました。

中川運河の水質浄化について質問。

中川運河の浄化のために、水流発生装置を利用して水域の滞留を防ぎ、魚類や浄化生物が生息できる環境を確保すべきではないかと訴えました。



名古屋市からの答弁。

中川運河におきましては、水質浄化のため、現在、中川口から海水を取水し、松重ポンプ所から堀川に排水することによって、運河内の水の循環量を増やす方策や、堀止において露橋水処理センターの高度処理水も活用した水質改善を進めてまいりたいと考えております。さらに、このような方策と共に、閉鎖性水域での方策として、議員からご提案をいただきましたような水流により水の層を攪拌するシステムも含め、名古屋港管理組合と共に検討してまいりたい。との答弁を頂きました。

